

秋田県障害者

スポーツ協会
だより

令和3年2月10日発行 第2020-2号
一般社団法人 秋田県障害者スポーツ協会事務局
〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
(秋田県社会福祉会館内5階)
TEL 018-864-2750 FAX 018-874-9467
Eメール info@akita-sports.jp
HPアドレス http://www.akita-sports.jp/

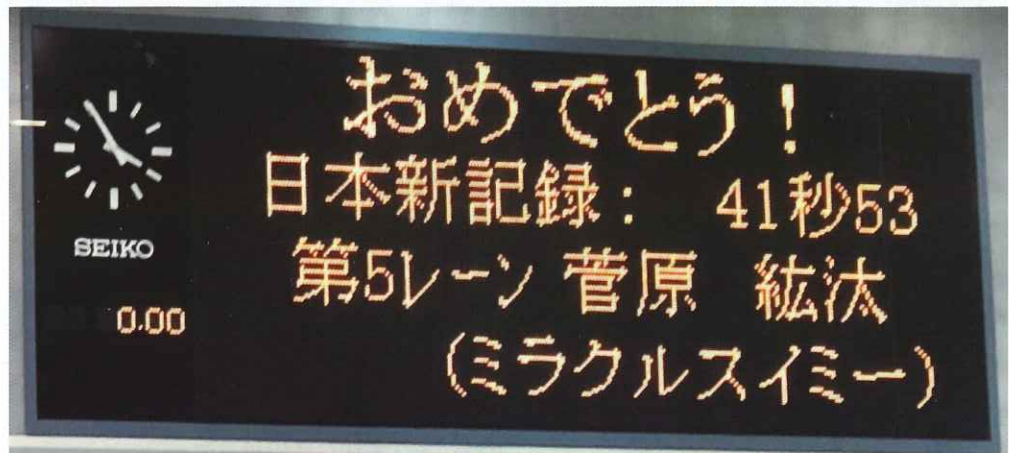
日本新記録&2020パラ東京大会参加基準記録突破おめでとう

11月宮城県にて開催されたWPS公認2020パラ水泳秋季記録会において、菅原紘汰さんが男子50m背泳ぎ(運動機能障害S5)で41秒53の日本新記録をマークし、2020パラ東京大会の参加基準記録(MQS)42秒08もクリアしました！！



菅原紘汰さん(19歳)
潟上市出身

令和2年3月に秋田きらり
支援学校を卒業



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大会や遠征もなくなり、一時はプールも休館。泳ぐことができない日もありましたが、その分しっかりと陸上トレーニングを積んで力を付けてきました。



このたびMQSを切ったことにより、(一社)日本身体障がい者水泳連盟の「育成S指定選手」から「強化B指定選手」に上がりました。これからは強化指定選手対象の合宿に参加でき、遂にトップアスリートたちの仲間入りです。臆することなくたくさんの方の力を吸収して、より心身ともに強くなった姿を期待しています。

なお、東京大会出場には派遣標準記録36秒85を突破する必要があります。5月に横浜市で開催される2021ジャパンパラ水泳競技大会での記録突破を目標に、更なる挑戦が続きます。

秋田県在住の初のパラ選手誕生に向けて、みんなで菅原紘汰さんを応援しましょう！！

★写真提供：NPO法人障害者アクアレッスンミラクルスイミー 谷内祐子理事長★



第21回全国障害者スポーツ大会（三重大会）秋田県選手団 個人競技選手選考方法「推薦応募制」のお知らせ



新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、今年度開催を予定していた第18回秋田県障害者スポーツ大会と、第19回秋田県特別支援学校総合体育大会が中止。両大会は三重大会の派遣選考大会となっていたため、関係者と検討・協議を重ね下記の方法で選手選考を行うことになりました。

三重大会出場希望者で推薦応募制を活用したい選手は、推薦要領をご確認のうえ推薦機関・団体にて申込手続きをしてください。

1 三重大会秋田県選手団個人競技の選手選考基準について

- (1) 直近の大会結果・記録（秋田県障害者スポーツ大会及び秋田県特別支援学校総合体育大会）をもとに選考
- (2) 参考となる自己記録・結果を記載した推薦応募書類をもとに選考



2 出場資格（令和3年4月1日現在で13歳以上の身体・知的・精神障害者。秋田県内に現住所を有する者）を満たし、次に該当するものがある場合申込可

- (1) 過去に秋田県障害者スポーツ大会及び秋田県特別支援学校総合体育大会フライングディスク競技に出場し、入賞の経験がある者
- (2) 各競技団体等が主催する競技大会に出場し、入賞の経験がある者
- (3) 所属する学校や施設、クラブ等において記録を計測して自己記録を届け出ることができる者
- (4) 令和3年度の新入生、転居者、その他特別な事情のある者については、(1)～(3)に該当しなくとも同等程度の大会に出場し、入賞の経験があれば構わない。

3 対象競技

- (1) 陸上競技<身体・知的障害者> (2) 水泳<身体・知的障害者> (3) アーチェリー<身体障害者のみ>
- (4) 卓球<身体・知的・精神障害者> (5) フライングディスク<身体・知的障害者>
- (6) ボウリング<知的障害者のみ> (7) ボッチャ<身体障害者のみ>

4 推薦機関・団体（選手本人による自薦は受付しない）

- (1) 各特別支援学校（市町村立学校の特別支援学級）
- (2) 各障害者施設
- (3) 市町村障害福祉担当主管課（身体・知的障害者）
- (4) 各地域振興局福祉環境部・秋田市保健所（精神障害者）



5 提出期間

4月1日(木)～5月7日(金)

※推薦応募書類一式は当協会ホームページにアップロードしています。
また、推薦機関・団体にも送付していますのでご確認ください。



6 選考結果の通知

- (1) 選手選考委員会（5月下旬）において候補選手を決定
- (2) 候補選手に決定した場合にのみ、本人及び推薦機関・団体へ通知



7 三重大会派遣期間

10月21日(木)～26日(火)



三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会

ときめいて人 かがやいて未来

2021

許可番号 三重国体・大会承認2第1-29号

事前の強化練習会を含めコロナ禍での大会派遣となります。高齢や基礎疾患等重症化リスクのある選手は、かかりつけ医の助言や指導を得るとともに、大会参加について十分にご検討くださるようお願い致します。

第19回秋田県障害者スポーツ大会のお知らせ

第22回全国障害者スポーツ大会(栃木大会)、第22回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技(精神障害者の部)北海道・東北ブロック予選会の選手派遣選考大会となります。



申込上の注意点

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、個人競技については、栃木大会に出場を希望する方への参加に限らせていただきます。

期日	競技名	会場
8月21日(土)	一般卓球	秋田テルサ体育館
	サウンドテーブルテニス	秋田県心身障害者総合福祉センター体育館
	ボッチャ	秋田県社会福祉会館展示ホール
9月11日(土)	水泳	秋田県立総合プール
	アーチェリー	秋田県勤労身体障害者スポーツセンター
	ボウリング	ロックンボウル
	バレーボール(精神障害)	秋田県立中央公園アリーナ
9月25日(土)	陸上競技	秋田県立中央公園陸上競技場
	フライングディスク	秋田県立中央公園球技場

大会参加申込手続きや競技規則について理解を深めるために、毎年4月中旬に「申込担当者説明会」を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、第19回大会の説明会は開催しません。

担当者の皆さまは申込書類を十分ご確認のうえ申込手続きを行ってください。また、申込手続きや大会参加にあたり不明な点等ありましたら、事務局までお問い合わせくださるようお願い致します。

秋田県障害者スポーツ大会ボッチャ競技の参加意向調査と結果について

第19回大会に向けた参加選手の実態調査を行いました。結果は次のとおりです。

【調査期間】10月23日(金)～11月27日(金)

【調査先】

No	区分	依頼数	回答数	未回答数
1	障害者施設	222	76	146
2	各特別支援学校	16	16	0
3	市町村身体障害者協会	23	15	8
	合計	261	107	154



ボッチャ競技は、ほかの競技に参加機会の少ない重度身体障害者のスポーツ参加を目的に全国障害者スポーツ大会に導入されました。

そのため、競技規則は日本ボッチャ協会競技規則を基準とし、重度身体障害者が負担なく競技できるよう配慮した、全国障害者スポーツ大会独自の規則が設けられていますので、十分な理解と練習が必要になります。

全国障害者スポーツ大会には秋田県から立位選手1名(区分番号1及び9)と、座位選手1名(区分番号2～8及び10)を派遣します。

【調査結果】

1 参加希望の選手がいる(参加を検討している)

No	区分	希望者			全スポ 出場希望
		区分番号	重複障害	人数	
1	A 障害者施設	10	なし	1	あり
2	B 障害者施設	6	精神	1	あり
		8	なし	3	あり
3	C 障害者施設	9	なし	4	あり
4	D 障害者施設	10	なし	1	なし
5	E 特別支援学校	6	なし	2	あり
6	F 特別支援学校	9	知的	1	あり
7	G 特別支援学校	4	知的	1	なし
8	H 特別支援学校	6	知的	1	なし
9	I 身体障害者協会	9	なし	1	なし

2 参加希望者なし

No	具体的な理由	施設	学校	身障協会
1	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため参加しない。	3	—	—
2	高齢者が多く、新たに取り組むことが難しい。	3	—	5
3	重症心身障害児・者のため参加(外出)が困難。	3	1	—
4	経験がない。競技に取り組む(参加する)予定なし。興味がない。	23	3	3
5	施設運営上、スポーツ活動ができない。(大会参加も困難)	8	—	—
6	障害区分に該当する選手がいない。	32	8	6



「ボッチャ競技に取り組んでみたいけれど、用具がなくルールも分からない」「どんな競技が知りたい」「ちょっと挑戦してみたい」「教えにきてくれる人はいるの?」
…等々お考えの施設・学校・団体はありませんか?ボッチャ競技は子どもから高齢者まで誰でも取り組める親しみやすさがあり、一度やってみると「楽しい!!」という声が多く聞こえてきます。

県内全域、当協会スポーツ推進員が指導に伺います。また、秋田県ボッチャ協会員による実技・審判法指導のほか、栗田支援学校教諭(兼)教育専門監(保健体育)の石垣徹先生も対応致します。是非ご連絡ください。